

認知症に関する活動計画（概要）

- ①地域連携事業
 - ・地域包括支援センターへのパンフレット配布事業
 - ・認知症予防教室や家族介護教室などの地域支援事業への参画
- ②普及啓発事業
 - ・市民健康フォーラムへの参画
- ③人材育成事業
 - ・富山県リハビリテーション専門職団体協議会主催研修会の開催

認知症オレンジチャンネルへの撮影協力

昨年、地域包括支援センターより射水市が実施する「認知症オレンジチャンネル」の「脳トレ」に関する内容について作業療法士へ協力依頼がありました。県士会内の検討委員会で意見を出し合い、地域包括支援センター職員との複数回の打ち合わせを経て、撮影に臨みました。作業療法士の専門性をケーブルテレビを通して地域住民に直接届ける貴重な機会となり、地域における作業療法士の役割を知っていただくうえでも有意義な取り組みとなりました。



市民健康フォーラムへの参加

高岡市主催の「高岡市民健康フォーラム」にて、県士会ブースを出展しました。軽度認知症チェックやコグニサイズ、脳トレステップシートの体験、県士会作成の認知症予防に関するパンフレットの廃部・説明、OT協会作成の「二本の傘（解説パート）」の動画上映等を実施しました。当日は約40名の方にお立ち寄りいただき、認知症予防や健康づくりについて体験・交流していただくなど、盛況なブースとなりました。



その他 地域連携事業・3士会合同人材育成事業

富山県作業療法士会では、行政や地域包括支援センターとの顔見える関係づくりを目的に、毎年、介護予防に関するパンフレットの作成・配布事業を行っています。認知症に関連したパンフレットも初版・第二版を作成・配布し好評をいただいています。

富山県リハビリテーション専門職団体協議会では県からの委託を受け、介護予防や地域ケア会議におけるセラピストの育成を目的に、PT、OT、STそれぞれの専門性に応じた研修会を年4回開催しています。OTでは認知症をテーマに昨年度より3カ年計画として「基礎・応用・実践」の3ステップ研修会を実施しています。

